

# 事業報告書

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月 31日

公益財団法人前立腺研究財団

## 2025 年度 事業報告書

### 1 役員等

2026 年 3 月 31 日現在役員等

理 事	7 名	(代表理事 1 名 専務理事 1 名 常務理事 1 名)
監 事	2 名	
評議員	8 名	

### 2 会 議

#### 1) 理事会

2025 年 5 月 26 日 (第 1 回 通常理事会 リモート会議)

2026 年 3 月 18 日 (第 2 回 通常理事会 リモート会議)

2026 年 1 月 22 日 (第 1 回 臨時理事会 みなし会議)

#### 2) 評議員会

2025 年 6 月 12 日 (定時評議員会 リモート会議)

#### 3) 前立腺研究財団運営資金検討チーム会議

2026 年 2 月 19 日 (第 1 回チーム会議 リモート会議)

#### 4) 前立腺シンポジウム運営委員会

2026 年 3 月 3 日 (リモート会議)

#### 5) 第 40 回前立腺シンポジウム プログラム委員会

2025 年 10 月 3 日 (リモート会議)

#### 6) 2025 年度「研究助成」選考委員会

2025 年 12 月 14 日 (コンgresクエア日本橋)

### 【 事業報告 】

#### 1. 前立腺シンポジウム学術集会 (自主事業)

第 40 回前立腺シンポジウムの第 1 日は 2025 年 12 月 13 日 (土) にオープニングセミナーおよび基礎部門として公募演題と指定演題の発表、基礎部門ワークショップ、教育セミナー1 を実施した。

第 2 日の 14 日 (日) には臨床部門として「進行性前立腺癌一局所進行性から転移性・

去勢抵抗性」をテーマに、公募演題の発表、教育セミナー2、スポンサードセミナー（企業共催セミナー）、臨床部門ワークショップを実施し、2日間のシンポジウムを終えた。

2日間にわたって開催された今回のシンポジウムには、延べ286名の方々にご参加いただき、全国の泌尿器科医、放射線科医、病理医および基礎研究者を中心に、前立腺がんの「基礎部門」、「臨床部門」それぞれの研究に携わっておられる医師・研究者による活発な討論、意見交換が行われたことは、明日からの前立腺がん診療の向上に寄与すると考えられ、極めて意義深いシンポジウムとなった。

## 2. 研究助成（公募）

2025年度研究助成選考委員会を12月14日に実施し、以下の3名が受賞した。

（助成金額は、最優秀課題100万円/1名、優秀課題50万円/2名 合計200万円）

＜応募件数（受賞件数）＞

- ・ 基礎的研究課題：13 課題（2 課題）
- ・ 臨床的・疫学的研究課題：8 課題（1 課題）

【受賞者3名】

＜基礎2名＞

（最優秀課題）

- ・ 永井 隆 氏  
所 属：名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎・泌尿器科学分野  
課題名：PSMA 標的ナノ粒子を用いた選択的プラズマ治療による前立腺癌局所治療法の開発

（優秀課題）

- ・ 谷 優 氏  
所 属：大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学（泌尿器科学）  
課題名：PARP と LIG1 の合成致死性に基づく去勢抵抗性前立腺癌に対する新規併用療法の開発

＜臨床・疫学1名＞

（優秀課題）

- ・ 野呂 卓秀 氏  
所 属：東邦大学医療センター佐倉病院 泌尿器科  
課題名：臨床因子・MRI・機械学習を統合した日本人前立腺癌患者におけるcsPCa 診断支援モデルの構築

## 3. 人間ドック施設における前立腺がん検診実施状況調査 第21回（自主事業）

公益社団法人日本人間ドック学会の協力のもと、平成17年度より継続実施している「人間ドック施設における前立腺がん検診実施状況調査」は、前回（20回）の調査と同様に、前立腺がん検診実施状況の更なる詳細を把握する目的をもって、492施設（前回547）にアンケート調査票を配布し、203施設（前回224）より回答を得た。

回答率41.3%（前回41.0%）

回答結果は実施調査関係者に対し、12月13日に第20回アンケート集計および第21回の回答状況の報告会議を実施するとともに、財団関係者に対し報告書の冊子を送付した。

#### 4. 情報提供（自主事業）

「がん医療情報」を求める医師、患者に対し Web サイトで、がん医療に関わる映像やセミナーの予定などを配信するがんチャンネルに加盟し、Web にて科学的根拠に基づく「がん医療情報」を提供した。

2025 年度は 2 名実施

- ・ 吉田 宗一郎 先生  
所 属 : 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 腎泌尿器外科学教室  
テーマ : オリゴ転移前立腺がんに対する標的放射線治療
  
- ・ 上村 博司 先生  
所 属 : 横浜市立大学大学院医学研究科 泌尿器腫瘍学 特任教授  
テーマ : PSMA-PET/CT 検査と PSMA 治療について

#### 5. 学術図書等の刊行（自主事業）

前立腺がんの正しい知識の啓発として、保健行政担当者向けに、前立腺がん検診に関するトピックス等の特集した「前立腺がん検診学術ニュース」を刊行。

住民検診実施時に市民から寄せられる問い合わせ等に活用するとともに財団ホームページ上に内容の要約を開示し広く社会一般に公表した。

2025 年度は、「前立腺がん検診学術ニュース第 19 号」を刊行した。

全国の自治体 (1,741 ヲ所) および関係機関 (99 ヲ所)、都道府県医師会長 (47 ヲ所)、財団関係者 (36 ヲ所) 宛て複数部送付した。

#### 6. パンフレット等の印刷（自主事業）

一般市民向けに、前立腺がん検診についての最新情報をわかりやすく解説した「PSA 検診受診の手引き」を、2025 年度 4 月に更新版を刊行した。

パンフレット要望の 2025 年度の依頼件数は 35 件 (1,177 部) であった。

#### 7. 前立腺微小がん発症と臨床がんへの進展の 1 次予防（化学予防）についてのコホート研究（自主事業）

主任研究者 : 黒沢病院 院長 伊藤一人

本研究は 2024 年度に終了にて、2026 年 2 月に研究報告書が提出された。

#### 8. 前立腺がん死に対する P S A 検診の効果検証（自主事業）

主任研究者 : 黒沢病院 院長 伊藤一人

症例対照研究・時系列/地域相関研究へのレトロ研究である。研究は今年度にて終了した。重要な解析を含め、プロトコールに記載のある研究解析を行い、研究成果を学術集会、学会医学専門誌に公表する予定である。

## 9. キャンペーン（後援事業）

前立腺がんの正しい知識を国民にわかりやすく伝えることを目的とした「ブルークローバー・キャンペーン」に対し、後援名義の使用および動画配信を行った。

第40回前立腺シンポジウムにて、「ブルークローバー・キャンペーン」の活動動画の配信を実施。

### ※ブルークローバー・キャンペーン

NPO 法人前立腺がん啓発推進実行委員会：代表者 深貝隆志（昭和大学 泌尿器科 教授）

以上